

I. 1Q21総括

単位: 億円
 %、YoY = 前年同期比
 QoQ = 前四半期比

売上 529.7億円・+5.2% 営業利益 43.6億円・+113.0% 当期利益 35.1億円・+214.1%

**NWサービス需要前期継続・SI増加基調 利益想定超過で新中計初年度1Qスタート
 新個人プラン開始に伴うモバイルARPU・売上減影響をNW・SI増収で吸収**

◆ ネットワーク(NW) サービス

➢ 企業のIT利活用進展に伴い増収継続: IPサービス +13.7%YoY、セキュリティ関連サービス +15.0%YoY、WANサービス +4.4%YoY

◆ システムインテグレーション(SI)

➢ 弱含みであった前年同期比復調増: SI売上 +10.2%・+19.3億円YoY、SI構築受注 +30.5%・+20.4億円YoY

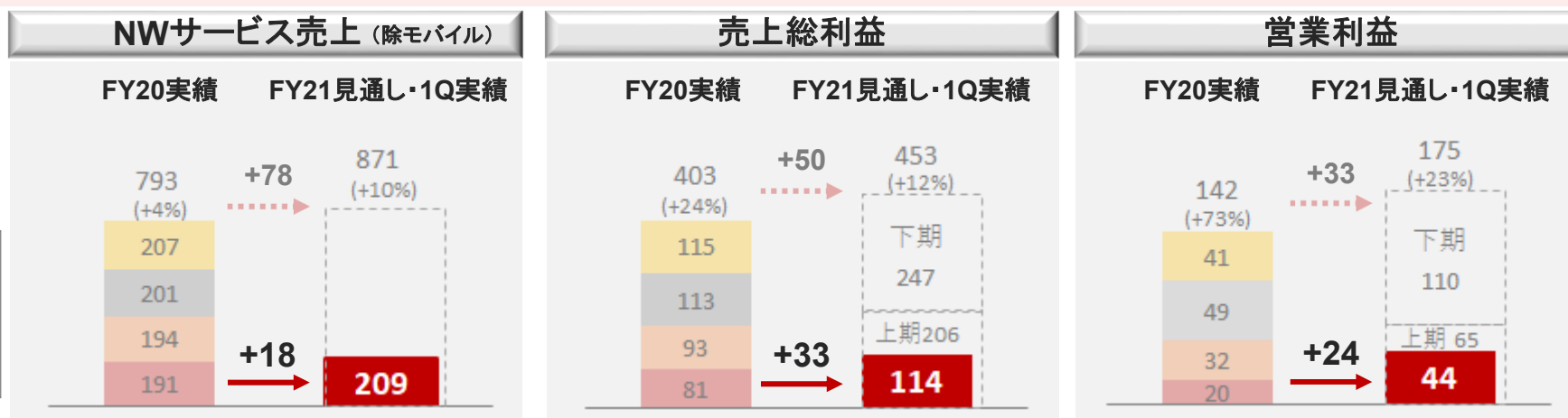
- ・ インターネットゲートウェイ増強等オフィスIT需要活況、企業ネットワーク更新設計・Web分離環境構築等の案件増加
- ・ M&AのシンガポールSI子会社(PTC)21年4月より子会社化 1Q連結影響: 売上 13.1億円、営業利益 0.6億円

◆ モバイルサービス

➢ 法人モバイル売上(除MVNE) 23.4億円(+40.1%・+6.7億円YoY) 多種多様なネットワークカメラ接続需要継続

➢ 新個人プラン「ギガプラン」(21年4月～)で回線数増 1Q21末個人向け回線数 105.3万(+1.9万QoQ) うちギガプラン 46.2万(うち新規約17%)

- ・ 個人向け売上 53.9億円(△4.0億円YoY)、MVNE売上 28.5億円(△15.3億円YoY) FY21モバイル売上△83億円YoYとの見通し通りの売上進捗



- ・ ARPU (Average Revenue Per User): ユーザー1人あたりの平均売上を指す
- ・ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

II - 1. 1Q21連結業績サマリー

単位: 億円
(除 配当金(円))

	売上高比		前年同期比		売上高比		前期比	
	1Q21 実績 2021年4月～2021年6月	1Q20 実績 2020年4月～2020年6月			FY21上期見通し (2021年5月発表) 2021年4月～2021年9月	FY21見通し (2021年5月発表) 2021年4月～2022年3月		
売上収益	529.7	503.8	+5.2%	+26.0	1,080	2,260	+6.1%	+130.0
売上原価	78.4% 415.5	83.9% 422.7	△1.7%	△7.2	80.9% 874	80.0% 1,807	+4.6%	+79.8
売上総利益	21.6% 114.3	16.1% 81.1	+40.8%	+33.1	19.1% 206	20.0% 453	+12.5%	+50.2
販売管理費等 ^(*)	13.3% 70.7	12.0% 60.7	+16.5%	+10.0	13.1% 141	12.3% 278	+6.8%	+17.7
営業利益	8.2% 43.6	4.1% 20.5	+113.0%	+23.1	6.0% 65	7.7% 175	+22.8%	+32.5
持分法投資損益	△2.2	△2.8	-	+0.6	△3	△4	-	+0.1
税引前利益	10.1% 53.5	3.4% 16.9	+215.8%	+36.6	5.8% 63	7.7% 173	+23.3%	+32.7
当期利益 ^(*)	6.6% 35.1	2.2% 11.2	+214.1%	+23.9	3.9% 42	5.2% 117	+20.5%	+19.9
1株当たり 年間配当金 ^(*)	-	-	-	-	¥19.50	¥39.00	+31.1%	+¥9.25

(*) 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載

(*) 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

(*) 2021年1月1日に当社株式1株を2株に分割しており、上表はそれ以前の分割前配当額を分割後に補正して表示



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

事業等のリスク

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。